

Form 5

平成 年 月 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 宮崎県立延岡高等学校・理数科主任 田爪 孝明

2. 参加研究者: 九州大学 大学院 Julius J. MBUNA 博士

3. 実施日時: 平成21年 11月 12日 (木) 13 :55 ~ 15 : 35

4. 参加生徒: 2年生 73人、 1年生 1人、 3年生 1人 (合計 73人)  
備考: (例:理数科の生徒) 2年理数科生徒(インフルエンザ等で欠席あり)

5. 講演題目: (英文)

(和文) 抗がん剤の分離法開発とがん細胞への取り込み挙動の研究

6. 講演概要:

母国タンザニアについてのお話とキャピラリー電気泳動によるドキソルビシン誘導 DNA 断片化の定量的評価について

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 100分 質疑応答時間  分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

プロジェクター使用による講演

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

特になし

協力者 職・氏名

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

事前にご講演内容をパワーポイントで頂きましたので、化学の授業の際に生徒に配布して簡単ではありますが紹介をしました。

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項: